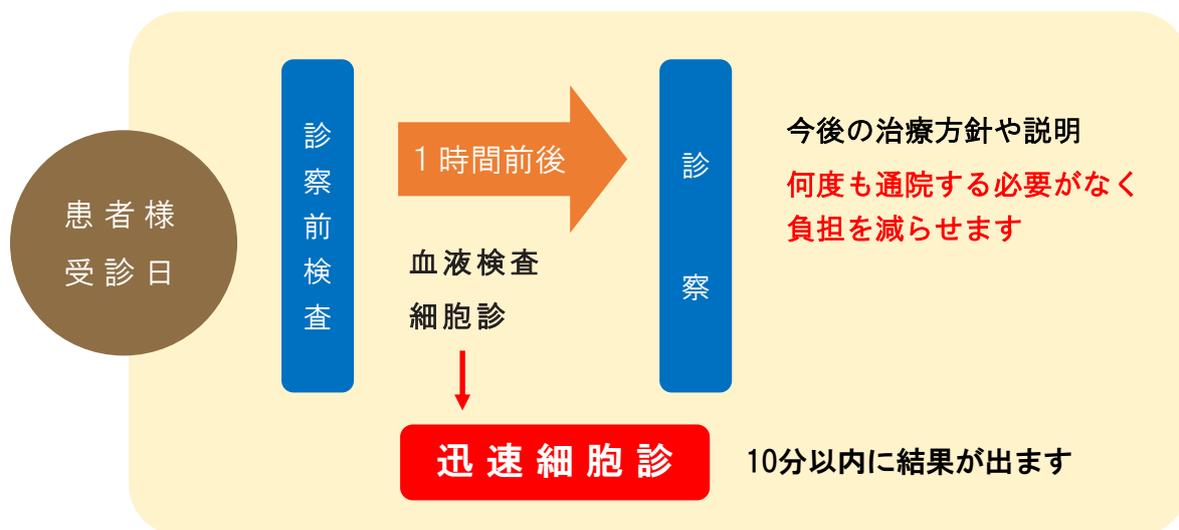


# 甲状腺専門病院 野口病院では受診当日に 今後の治療方針の説明が受けられます。

当院は甲状腺専門病院です。県外からの患者様も多く、迅速な結果報告が患者サービスにつながるという考えから、外来患者様に対して検査結果が出揃ってから（採血から1時間前後）診察を行うという「診察前検査」を実施しています。現在、多くの病院でも「診察前検査」を実施していますが、当院ではこの診察前検査に細胞診が含まれています。患者様が受診したその日に、細胞診を含めた全ての検査結果を説明し、詳しい診断や治療方針の説明を受けることができます。検査に細胞診が含まれていても受診当日に今後の治療方針までの相談できる病院は全国的にもほとんどありません。

## 「迅速細胞診」を含む診察前検査が患者様の 受診回数を減らします（一部の特殊な場合を除く）



甲状腺の細胞診が他の臓器と最も異なる点は、細胞診の結果を基に手術や治療が行われるという点です。単に良悪の区別だけでなく、組織型（癌の種類）を分類します。

細胞診（細胞を顕微鏡で観察する）は通常、パパニコロー染色で診断します。パパニコロー染色は、標本作製から結果報告まで、少なくとも2～3時間が必要です。細胞診を自施設では行わず、外部委託する場合は、更に時間がかかり翌日以降になります。そこで、当院では細胞診の結果報告を迅速に行うために迅速細胞診を実施しています。染色が数分で完了するため、10分以内に結果報告ができます。もし、採取された細胞数が少なすぎて診断できない場合でも、直ちに2回目の穿刺を実施する事ができます。パパニコロー染色標本での診断との一致率は95%以上であり、パパニコロー染色法に引けはとりません。